

対象学年	2 学年	科目名	卒業研究	担当名	唐橋 誠治
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	8単位 120 時間

到達目標	卒業研究のテーマに合わせて、問題を読み解く力、洞察した考えを表現する能力、発表までの流れをマネジメントする力を付ける。お客様からの提案・要望に自分で考えて答えを出し、最大限に表現できるホテリエに育成する。
学習内容	ホテルニューオータニにて8年勤務。プライダルキャプテンで400組の婚礼を担当。天皇陛下をはじめ、迎賓館、総理官邸での各国VIPへの接遇経験。経験を活かし、企業とタイアップしてホテル内における問題や提案に対して、解決方法や改善策、研究した内容のプレゼンテーションを行う。現場視察やホテル有識者に助言を頂きながら進めていく。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	授業内容に応じて現地視察、現地実地有

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	対象企業にて現地視察レクチャー①	ホテル関連書籍	
2	対象企業にて現地視察②	ホテル関連書籍	
3	対象企業にて現地視察③	ホテル関連書籍	
4	改善案の考察	ホテル関連書籍	
5	視察を踏まえた具体案の絞り込み ※競合企業の現状も踏まえた考察	ホテル関連書籍	
6	授業内討論会 (発表する姿勢、魅了する力を考える)	ホテル関連書籍	
7	プレゼン用パワーポイント完成	ホテル関連書籍	
8	中間発表前リハーサル (立ち居振る舞い、話し方)	ホテル関連書籍	
9	中間発表 ※8回目の可能性もあり	ホテル関連書籍	
10	中間発表反省及び修正	ホテル関連書籍	
11	発表内容に関する精度を上げる為の調査・考察	ホテル関連書籍	
12	表現方法(発表時の見せ方)に関する精度を上げる為の調査・考察	ホテル関連書籍	
13	プレゼン用パワーポイント完成	ホテル関連書籍	
14	プレゼンリハーサル (学内発表予定)	ホテル関連書籍	
15	定期試験 (最終プレゼンテーション)		